

大俣小だより

3月号

「気付き・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成



春の訪れと新たなスタート

暖かな春の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆さまには、この一年間、本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。本年度を締めくくるにあたり、最近の子どもたちの様子をご報告いたします。

2月27日、全校児童で「6年生を送る会」を行いました。6年生や大俣小学校にまつわるクイズや、ふれあい班で協力した活動など、会場は終始笑顔でいっぱいになりました。



また、今年度最後の「ふたばタイム」は、あいにくの雨でしたが、学年を超えて一つの大きな作品づくりに没頭する姿も見られました。



「お世話になった6年生のために」「みんなで協力して」と

いう気持ちで取り組む子どもたちの姿に、この一年間で深まった「絆」の強さを改めて実感いたしました。

いよいよ、今週の金曜日(13日)が卒業式です。1年生から5年生は6年生への感謝を、卒業生は6年間の想いを胸に、最高の式にしようと練習に励んでいます。

保護者の皆さまへ

一年間、子どもたちが大きな事故もなく学校生活をおくることができたのは、ご家庭での温かい励ましがあったからこそです。ありがとうございました。

また、今年度も学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもたちの成長を見守ることができたのではないかと思います。そして、家庭や地域の支えがあったからこそ、数々の学校賞や子どもたちの成長という「宝物」を得ることができたと感謝しております。

いよいよ今年度も残りわずかですが、子どもたちが希望をもって次なるステージへ進めるよう最後まで職員一同全力で取りくんでまいります。



読書教育の学校賞

読書教育の学校賞をいただきました。これは、今年度取り組んできた「読書活動の充実」が評価されたものだと思っております。各団体より助成金をいただいていたの図書の実績、校内での「読書目標達成賞」の設定、先生方の読書感想画等の指導、そして何より朝早くから読み聞かせを続けてくださったボランティアの皆さまのご協力のおかげだと感謝しております。(※右写真は、本年度いただいた学校賞の数々です)

